

第1号議案 2013 年度事業報告書

2013 会計年度 (2013.4.1 – 2014.3.31)

I. 研究活動

1. 『ジャイロプレス(回転切削圧入)工法による鋼管土留め擁壁設計・施工指針』を策定し、発行。
2. 第3号 IPA 研究論文集「Press-in Engineering 2013」を発行。
国立国会図書館、国内外大学、関連する学協会、IPA 会員等に配布。

II. 国際会議活動

1. 7 月に高知で第6回圧入工学セミナー・若手研究者ワークショップ・海外研究者セミナーを開催。
 - 1.1 『第6回 IPA 圧入工学セミナー』を2013年7月9日 13:30 から 17:15 まで、高知市、サンピアセリーズで開催、12ヶ国(留学生含む)から約240名が参加、講演の内容は以下のとおり。

講演 1「ケンブリッジ大学と技研製作所の共同研究成果と現場への展開」

ケンブリッジ大学 スチュワート・ヘイグ博士

技研製作所 新工法開発部 実証科学課リーダー 石原 行博

講演 2「南海地震に伴う高知市の長期浸水対策について」

高知県 危機管理部 副部長 野々村 毅

講演 3「アジアにおける最新の圧入技術の適用例」

ATSUNEW GIKEN PTE.LTD. ゴー・ティクリム博士

講演 4「わが国における最新の圧入技術の適用事例」

株式会社技研製作所 工法事業部 工法推進課リーダー 木村 育正

- 1.2 『第2回 IPA 若手研究者ワークショップ』を2013年7月10日 8:30 から 11:00 まで、(株)技研製作所 高知本社にて開催、9ヶ国、6大学、40名が参加し、圧入技術の国際展開に貢献した。発表内容は下記のとおり。

発表 1「防災における圧入技術とインプラント構造適用事例及び、IPA として必要な

役割の基礎理解について」 株式会社技研製作所 石井 一嘉

発表 2「繰り返し載荷による圧入方法について」

ケンブリッジ大学 フランチェスカ・ブラリ・ダレツツォ

発表 3「杭貫入に関する実験と数値解析」

東京大学 木村 俊也

発表 4「開頭端杭の動的載荷試験に関する数値解析と実験」

金沢大学 ファン・タ・レ

発表 5「杭基礎への水平荷重に関する実験」

金沢大学 イェシム・ウンサバー

発表 6「鋼製矢板補強による防波堤の津波に対する研究」

東京理科大学 水野 竜太

発表 7「上海軟弱地盤における圧入時の地中埋設管への影響」

同済大学 シャン・リー

発表 8「高流動化剤による粗骨材とモルタルの相互作用効果」

高知工科大学 田中 一徳

- 1.3 『第 1 回 IPA 海外研究者セミナー』を 2013 年 7 月 10 日 13:00 から 16:10 まで、
(株)技研製作所 高知本社にて行い、4 ヶ国、24 名が参加。海外の市場が予測される
アジア諸国より、研究者、技術者を招聘し、その国における圧入技術に関する研究等
を検討した。発表内容は下記のとおり。

発表 1「アジア地域での IPA 活動促進に必要な基礎理解について」

株式会社技研製作所 石井 一嘉

発表 2「具体的な研究テーマ案の提起」

株式会社技研製作所 野崎 恒延

発表 3「シンガポールにおける圧入技術普及の経緯、現況、今後の方向性」

ATSUNEW GIKEN PTE. LTD. ゴー・ティクリム博士

発表 4「シンガポールにおける圧入工法に関する研究提案及び、圧入工法の

認知について」シンガポール大学 リャン・チュンフェイ教授

発表 5「中国における杭の静圧入に関する考察」

同済大学 パン・ファンルー教授

発表 6「マレーシアの地方自治体レベルにおける圧入技術受容の検討」

マレーシア・タン・フセイン大学 ノール・アジジ・ユソッフ博士

2. 第 5 回 IPA 国際ワークショップ(2014 年度開催予定)の開催準備を遂行。
11 月 26 日から 12 月 6 日、松本理事(金沢大学)、奥村事務局長、石井監事がベトナムに出張、第 5 回 IPA 国際ワークショップ会場、現場見学会、プログラム等について検討。
3. 産学官との連携強化
 - 3.1 ASCE、DFI、国際地盤工学会、中国土木工学会、上海土木学会等と情報交換を実施。
2013 年 7 月 17 日から 21 日、奥村事務局長が、中国上海に出張して、都市地下空間利用の国際フォーラムで講演や情報交換を実施。
11 月 23 日から 25 日、奥村事務局長が、中国青島に出張して、同済大学が作成した青島市地下空間利用計画について国際専門家による評価会議に出席。
 - 3.2 同済大学、シンガポール国立大学、マレーシア・タン・フセイン大学(UTHM)、ホーチミン工科大学、ホーチミン建築大学等と連携強化を実施。

Ⅲ. 委員会活動

1. 総会
2013 年度通常総会(メール会議)を 2013 年 4 月 1 日から 19 日に開催し、第 1 号議案「2012 年度事業報告書」、第 2 号議案「2012 年度収支計算書及び監査報告書」、第 3 号議案「2013 年度事業計画書」、第 4 号議案「2013 年度収支予算書」すべての議案を全会一致で決議。
2. 理事会
2013 年度メール理事会を 2014 年 1 月 28 日から 2 月 4 日に開催し、第 1 号議案「2013 年度収支修正予算書」、第 2 号議案「2013 年度新規会員報告書」すべての議案を全会一致で決議。
3. 研究委員会
2014 年 1 月 30 日に第 1 回研究委員会を開催し、第 5 回研究助成賞の推奨テーマ等を議論。

4. 広報委員会

広報委員会にて、ホームページの充実、会員向けサイトの新設、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表等の広報活動を活発に推進。

IV. 広報活動

1. ホームページの更新

- 1.1 国際圧入学会のホームページに種々の活動及び出版物に関するコンテンツを追加更新した。
- 1.2 会員専用ホームページを立上げ、活用開始。

2. 講演活動

- 2.1 2013年6月6日、全国圧入協会の2013年度総会において、奥村事務局長が『IPAの最新活動報告』について講演。

3. プレス発表等

- 3.1 第4回IPA国際ワークショップ、同報告会等のイベント、研究成果等を新聞・雑誌に適時に発表。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動

- 1.1 技研製作所IPA推進室の協力を得て、正会員、法人会員の勧誘活動を実施。
(2014年3月31日現在)

正 会 員	481 名
法 人 会 員	26 社

以上

第 2 号議案 2013 年度収支計算書及び監査報告書

2013 会計年度(2013.4.1-2014.3.31)

(単位: 円)

科 目	修正予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	100,000	0	△ 100,000	0社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,550,000	4,511,586	△ 38,414	452名分(会員数/481名)
法人会員年会費収入	3,000,000	2,857,016	△ 142,984	29口(会員数/26社)
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	2,000	1,353	△ 647	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	10,652,000	10,369,955	△ 282,045	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第4回研究助成金支出	500,000	472,558	△ 27,442	1件送金分
第5回IPA国際ワークショップ準備	300,000	856,876	556,876	3名分(2回)
ベトナム圧入技術現状調査	0	420,160	420,160	2大学
「Press-in Engineering 2013」印刷代	859,248	859,248	0	
第3回IPA助成賞論文査読料	10,000	10,000	0	1件分@ ¥5,000*2名
第4回IPA研究助成賞受賞者研究支援	100,000	8,930	△ 91,070	
研究委員会委員謝金	100,000	15,000	△ 85,000	
ジャイロプレス工法設計施工指針検討委員会	400,000	565,296	165,296	
圧入設計施工指針検討委員会	100,000	0	△ 100,000	
PPT指針検討委員会	0	0	0	
第6回IPA圧入工学セミナー・若手ワークショップ	871,598	871,598	0	高知
海外会員活動支援	500,000	519,401	19,401	上海・青島学会参加
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	140,000	133,350	△ 6,650	
会員証作成費用	10,000	0	△ 10,000	
印刷代	120,000	27,830	△ 92,170	
翻訳代	0	0	0	
国内外送料	200,000	187,852	△ 12,148	
通信費	110,000	95,420	△ 14,580	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
IPC事務用品費	400,000	556,139	156,139	バナースタンド、書籍購入
支払い手数料	50,000	46,422	△ 3,578	
③ 国内交通費				
事務局員	150,000	171,850	21,850	
研究委員会開催費	200,000	214,171	14,171	
④ 支部活動費				
			0	
事業活動支出計	8,120,846	9,032,101	911,255	
事業活動収支差額	2,531,154	1,337,854	△ 1,193,300	

(単位: 円)

科 目	修正予算額	決算額	差異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	2,000,000	0	2,000,000	
投資活動収入計	2,000,000	0	2,000,000	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金取得支出	5,000,000	0	5,000,000	
投資活動支出計	5,000,000	0	5,000,000	
投資活動収支差額	△ 3,000,000	0	△ 3,000,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	30,000	26,559	△ 3,441	
研究予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 498,846	1,311,295	△ 1,189,859	
前期繰越収支差額	820,958	820,958	0	
次期繰越収支差額	322,112	2,132,253	△ 1,810,141	

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2014 年 4 月 18 日

監事

石井一嘉 

監事

 印 



In our opinion, the above statement of accounts are presented fairly in all material respects.

April 18, 2014,

Auditor



Auditor

第 3 号議案 2014 年度事業計画書

2014 会計年度 (2014.4.1 – 2015.3.31)

I. 研究活動

1. 圧入工法に関する技術指針(案)の策定、発刊
2. ジャイロプレス(回転切削圧入)工法設計・施工指針の活用
 - 2-1. 全国圧入協会との共催による、ジャイロプレス工法に関する技術講習会の開催
3. PPT(Pile Penetration Test)地盤情報推定技術のオーソライズ
4. 正会員、法人会員等から圧入施工現場の計測に関するプロポーザルがあった場合
現場計測業務の積極的支援
5. 第 5 回 IPA 研究助成賞の公募と授与
 - 04 月 9 日(金) 研究提案の公募開始
 - 06 月 30 日(月) 研究提案の締切り
 - 09 月 08 日(月) 審査終了
 - 09 月 09 日(火) 受賞者に連絡
 - 12 月 04 日(木)、05 日(金) 第 5 回 IPA 国際ワークショップ開催時に授与式の実施
6. 第 5 回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援
 - 6-1. 圧入技術の専門家を技術アドバイザーとして指名し、受賞者の研究支援
 - 6-2. 法人会員の現場ニーズを研究に反映する支援活動
7. 第 4 回 IPA 研究助成賞受賞者の論文作成支援
 - 09 月 01 日(月) 研究成果要旨提出期限
 - 09 月 30 日(火) 論文提出期限
 - 12 月 01 日(月) 論文査読終了
 - 02 月 02 日(月) 論文最終修正期間/提出期限
8. IPA 研究論文集第 4 号「Press-in Engineering 2015」の編集と発刊準備
9. 圧入技術の普及・啓蒙活動
 - 9-1. 国際ワークショップの報告会、圧入工学セミナー、研究成果発表会等の開催

II. 国際会議活動

1. 第 5 回 IPA 国際ワークショップを 12 月 3 日～5 日にベトナムで開催
主な、準備と内容は以下のとおり
 - 1-1. 会場、プログラム及び圧入施工現場見学会について検討、準備
 - 1-2. 最新の圧入技術、施工実績、ベトナムにおける圧入技術の普及等に関する講演、
圧入施工現場の見学会等
 - 1-3. 第 5 回 IPA 研究助成賞授与式と主な研究計画の発表
 - 1-4. 第 4 回 IPA 研究助成賞受賞者による主な研究成果論文の発表

2. 7月に高知で圧入工学セミナー・若手研究者ワークショップ・海外研究者セミナーの開催
 - 2-1. ケンブリッジ大学、東京大学、金沢大学、東京理科大学など、海外を含む若手研究者との交流を図り、圧入技術の国際展開への貢献
 - 2-2. 市場発展が予想される国から研究者・技術者を招聘し、その国における圧入技術普及に効果のある研究等の奨励
3. 第6回 IPA 国際ワークショップ(2016年度開催予定)の開催検討
ワークショップ会場や、現場見学会、プログラムについての検討
4. 産学官との連携強化
 - 4-1. ASCE、DFI、国際地盤工学会、ベトナム地盤工学会、中国土木工学会、上海土木学会等との緊密な情報交換
 - 4-2. 同済大学、国立シンガポール大学、マレーシア(UTM)、国立ホーチミン工科大学、国立ホーチミン建築大学等との連携

Ⅲ. 委員会活動

1. 総務委員会活動の充実と、財政基盤の強化
2. 圧入工法に関する計測技術の向上支援
 - 2-1. 研究委員会にて、機械・計測分野の委員を拡充、研究活動を活発にする。また、現場計測データなどの解析の実施による、地下の可視化に重点を置いた研究活動の推進
3. 圧入工法に関する技術指針(案)の策定
 - 3-1. 策定委員会を設置、技術指針(案)を策定
4. 研究委員会における、産学官連携研究活動の推進
5. 広報委員会における広報活動の推進

Ⅳ. 広報活動

1. 圧入工法の国内外の発注者に向けた広報活動の活発化と、発注仕様書に反映させる支援の実施
2. 圧入工学セミナーなどのイベント、研究成果等を新聞・雑誌等に適時発信
3. 全国圧入協会(JPA)総会における講演等、国際圧入学会の活動を紹介する講演活動の実施
4. ホームページの改訂、コンテンツの更新を促進、また会員専用サイト等の拡充

Ⅴ. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動を積極的に行い、法人会員を拡大する活動を充実化
全国圧入協会(JPA)との連携(イベント等の活用)による法人会員の拡大推進
2. IPC 国際圧入センターを活用した積極的な会員サービスの推進
3. 国内外の法人会員や正会員への積極的な活動支援の実施
特にベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、上海等のアジアを重点地域

以上

第4号議案 2014 年度収支予算書

2014 年度会計(2014.4.1-2015.3.31)

(単位: 円)

科 目	2013決算額	予算額	増減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	0	300,000	300,000	3社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,511,586	4,600,000	88,414	460名分(会員数/481名)
法人会員年会費収入	2,857,016	3,100,000	242,984	31口(会員数/26社)
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,120,000	120,000	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	1,353	1,500	147	
雑収入	0	4,000,000	4,000,000	ジャイロ指針・圧入指針
事業活動収入計	10,369,955	15,121,500	4,751,545	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第3回IPA助成賞論文査読料	10,000	0	△ 10,000	1件@ ¥5,000*2名
第4回研究助成金支出	472,558	0	△ 472,558	
第4回IPA研究助成賞受賞者研究支援	8,930	0	△ 8,930	
第4回IPA助成賞論文査読料	0	70,000	70,000	7件@ ¥5,000*2名
第5回IPA国際ワークショップ準備	856,876	500,000	△ 356,876	
ベトナム圧入技術現状調査	420,160	0	△ 420,160	
第5回IPA国際ワークショップ開催費	0	4,500,000	4,500,000	
第5回IPA国際ワークショップ報告会	0	300,000	300,000	
第5回研究助成金支出	0	5,000,000	5,000,000	
第5回IPA研究助成賞受賞者研究支援	0	200,000	200,000	
第5回IPA研究助成賞選考料	0	48,000	48,000	8件@3,000*2名
第6回IPA圧入工学セミナー・若手WS・海外研究者セミナー	871,598	0	△ 871,598	高知
第7回IPA圧入工学セミナー・若手WS・海外研究者セミナー	0	800,000	800,000	高知
研究委員会委員謝金	15,000	130,000	115,000	65,000*2回
ジャイロプレス工法設計施工指針検討委員会	565,296	0	△ 565,296	
ジャイロプレス工法設計施工指針講習会開催費	0	30,000	30,000	
圧入設計施工指針検討委員会	0	100,000	100,000	65,000*2回
PPT指針検討委員会	0	50,000	50,000	65,000*1回
「Press-in Engineering 2013」印刷代	859,248	0	△ 859,248	
「ジャイロプレス工法設計施工指針」印刷代	0	1,350,000	1,350,000	
「圧入設計施工指針」印刷代	0	1,000,000	1,000,000	
海外会員活動支援	519,401	250,000	△ 269,401	学会参加
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	150,000	16,650	
会員証作成費用	0	10,000	10,000	
印刷代	27,830	30,000	2,170	
翻訳代	0	0	0	
国内外送料	187,852	200,000	12,148	
通信費	95,420	100,000	4,580	
賃借料	3,000,000	3,120,000	120,000	
IPC事務用品費	556,139	300,000	△ 256,139	
支払い手数料	46,422	300,000	253,578	
③ 国内交通費				
事務局員	171,850	200,000	28,150	
研究委員会開催費	214,171	200,000	△ 14,171	
事業活動支出計	9,032,101	18,938,000	△ 9,905,899	
事業活動収支差額	1,337,854	△ 3,816,500	△ 2,478,646	

(単位: 円)

科 目	2013決算額	予算額	増減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	2,000,000	2,000,000	0	
投資活動収入計	2,000,000	2,000,000	0	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	2,000,000	2,000,000	0	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	26,559	30,000	△ 3,441	
研究予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 498,846	△ 1,846,500	1,347,654	
前期繰越収支差額	820,958	2,132,253	△ 1,311,295	
次期繰越収支差額	2,132,253	285,753	1,846,500	